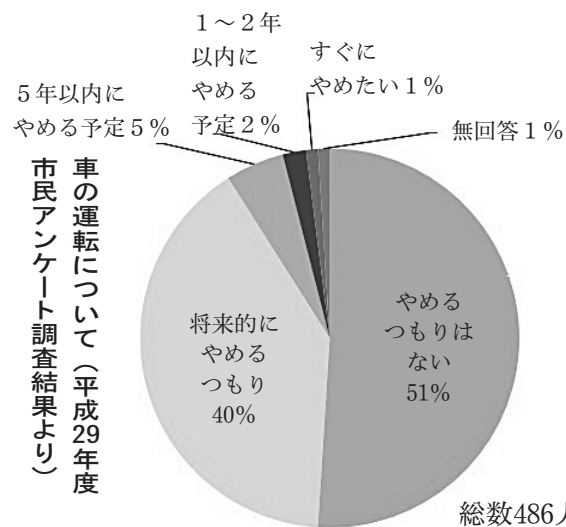




市民アンケート調査結果より

車の運転について（平成29年度

公共交通について考えてみましょう

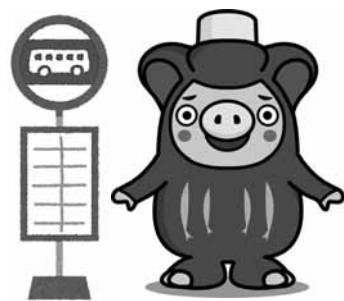
自分で自動車を運転できず、鉄道やバスを利用している人にとって、公共交通機関は大切な移動手段です。

そして、いつか自分や家族、友人が公共交通機関に頼らざるを得ない日が来るかもしれません。

市が昨年度に行ったアンケート調査によると、車の運転を「やめる予定、やめた」と回答した人が5割近くいました。

自分一人が便利になることを考えるのではなく、社会全体のことを考え、「公共交通」について考えてみましょう。

皆さんの利用が公共交通のサービス向上と持続につながります！



市では、現在、バス路線などの運行の無駄を省き、皆さんが使いやすいような公共交通となるように交通事業者と調整を進めています。

公共交通を維持していく上で、何より重要なことは多くの人に利用していただくことです。自分たちが支える公共交通という気持ちを持って、皆さんで利用しましょう！

次号では、本年3月に改定した「大船渡市総合交通ネットワーク計画」や公共交通に関する取り組みについて紹介します。

▽問い合わせ先
企業立地港湾課交通係
(管内線120)

大船渡市の地域公共交通について(第1回)

近年、地方における地域公共交通を取り巻く環境は、厳しい状況にあり、本市も例外ではありません。そこで、本市の地域公共交通の現状について、本号と次号の2回に分けて紹介します。

このままでは鉄道やバスがなくなるかも？

全国的に、地方における地域公共交通を取り巻く環境は、マイカーの普及や人口減少などにより、大変厳しい状況で、本市も例外ではなく、三陸鉄道、JR大船渡線、路線バスの利用者は年々減少しています。

また、本市をはじめ、東日本大震災の被災地域では、公共交通が被災して、一時期運休していたことから、移動スタイルが変化し、ますます公共交通離れが進みました。

さらに最近では、バスやタクシーの運転手不足が深刻な問題となっており、交通サービスの縮小を余儀なくされている状況にもあります。

利用者が減るとどうなるの？

自動車は確かに便利で快適です。しかし、皆さんが自動

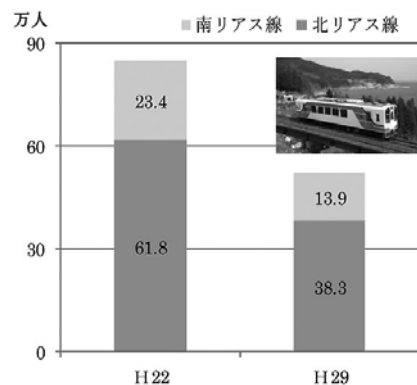
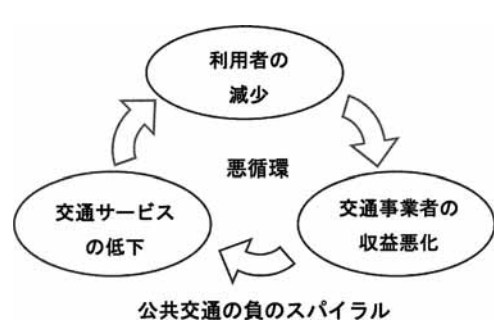
車ばかりを使っている間に、鉄道やバスの利用者は減り続けています。

このままでは、公共交通のサービスの低下はおろか、採算路線においては、運行事業者が撤退し、鉄道やバスがなくなってしまうかもしれません。

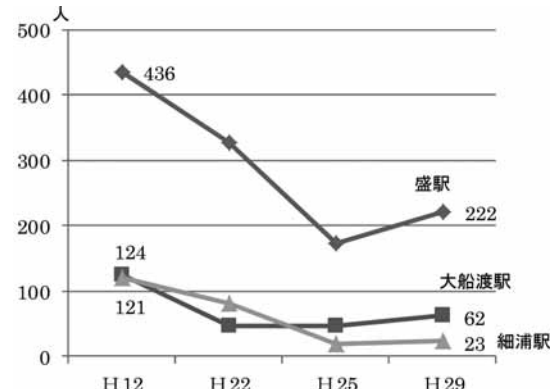
公共交通の利用者が減っています

下のグラフのとおり、平成22年度から比べると、三陸鉄道の乗車人員、JR大船渡線の乗車人員、路線バスの輸送人員は、6割程度に減っています。

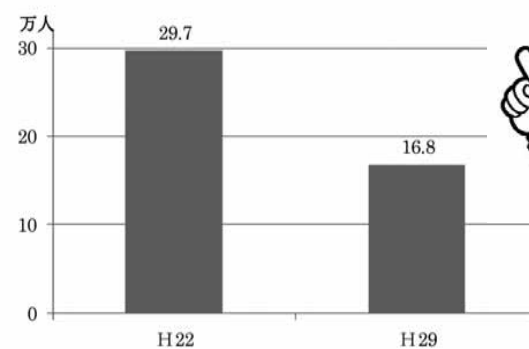
また、平成29年に行った市民アンケートでは、公共交通を利用してない人が77%という結果になりました。



三陸鉄道の乗車人員(事業報告書より)



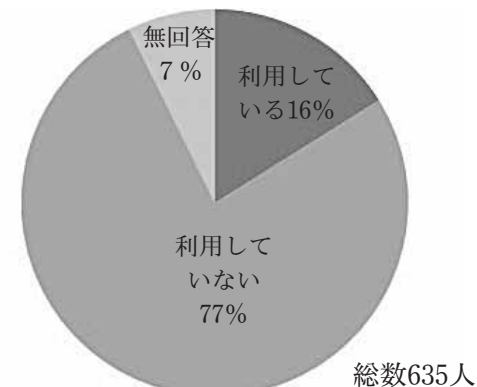
JR大船渡線の駅別1日平均乗車人員(JR東日本HPより※主要駅のみ抜粋)



市内を運行する路線バスの輸送人員(高速バスや長距離バスは除く)



公共交通の利用者が減っています。

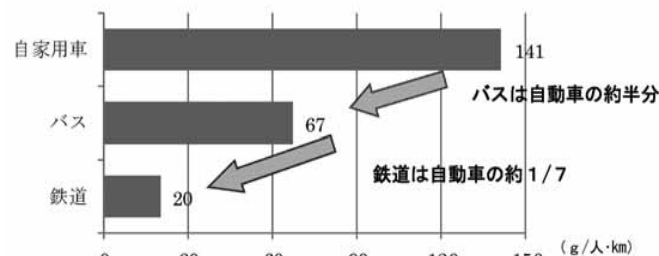


当市における公共交通利用状況(平成29年度市民アンケート調査結果より)

公共交通を利用すると、こんな良いことがあります

■環境に！

バスや鉄道は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素CO₂の排出量が自動車に比べて少なく、地球環境にやさしい交通手段です。



1人を1km運ぶのに排出するCO₂(2016年度)国土交通省ホームページより

■健康に！

車での移動は、ずっと座っていられて便利ですが、歩かなくて良いということは、カロリーの消費が少ないということです。

駅やバス停までの移動、乗り降りや乗り換えがあるバスや鉄道での移動は体力増進・健康維持に有効といわれています。



■家計に！

車を所有すると、維持費だけで1台当たり年間30～40万円以上かかるといわれています。

車がないと生活できないと思っていませんか。月に数回の市内での移動だけならば、公共交通の方が安いこともあります。

1台当たり年間負担額を50万円(購入費、維持費)と想定すると・・・

- ・1カ月当たり 41,666円の負担
- ・1週間当たり 9,615円の負担
- ・1日当たり 1,369円の負担

1日の負担額で、三陸鉄道なら盛駅から釜石駅へ行くことができます。

■事故防止に！

自動車の運転には、交通事故のリスクが常に付きまといます。しかも、自分で運転すると加害者になることもあります。

一方、公共交通機関は、利用者として乗っているだけなので、寝不足や体調不良でも、飲酒後でも移動することができます。

また、移動中に読書をしたり、勉強をしたり、有効に時間を過ごすこともできます。